

全体スケジュール

公募説明動画をオンラインにて配信します。

詳しくはSIIホームページでご確認ください。▶▶▶ <https://sii.or.jp/>

公募期間	2024年5月27日(月)～7月1日(月)
交付決定	2024年8月下旬(予定)
事業期間	交付決定日から2025年1月31日(金)まで <small>※複数年度事業は、交付決定日から2026年1月30日(金)まで</small>

申請

審査

事業期間

事業完了

事業開始

発注

設置

検収

支払い

交付決定日

※契約、発注等は必ず交付決定後に行ってください。

交付決定前に契約、発注等を行った場合は補助対象外となります。

2025年
1月31日(金)
まで

留意事項

- 当資料は2次公募における事業の概略を説明するものです。申請にあたっては必ず別途公開される**公募要領**等をご確認ください。
- 補助金申請にあたっては、インターネット環境が必要です。補助事業ポータルサイトにアクセスしてユーザ名を取得のうえ画面の内容に沿って必要事項の入力を行っていただきます。
- 補助金の交付決定の前に、既に契約、発注等がなされた事業は、交付対象とはなりません。
- 交付決定した事業者名、エネマネ事業者名、補助事業の概要等をSIIのホームページ等で公表します。
- 事業完了(設置完了、検収、支払完了)後、SIIに実績報告書を提出する必要があります。
SIIの確定検査後に補助金を支払います。
- 導入した設備は、善良な管理者の注意をもって管理し、補助金の交付の目的に従って、その効率的運用を図る必要があります。
- 設備の稼働後、省エネルギーの実績をSIIに報告する必要があります。
- 導入した設備を財産処分する場合は、予めSIIの承認を得る必要があります。補助金を返還いただく場合もあります。

申請について、ご不明な点はお気軽にお問合せ下さい。

(Ⅲ) 設備単位型

ナビダイヤル **0570-057-025**
【IP電話からのお問い合わせ】 **042-204-0989**

(Ⅳ) エネルギー需要最適化型

03-5565-4463

[受付時間] 10:00～12:00、13:00～17:00(土日祝日を除く)

2次公募

令和5年度補正予算

省エネルギー投資促進 支援事業費補助金

本事業は、省エネルギーの推進を目的に
国内で事業を営む法人と個人事業主のみなさまの省エネルギー対策を
支援するものです。



補助率等

補助率:補助対象経費の**1/3**以内 補助金額の上限:**1億円**/事業全体

※申請する類型によって、適用される補助率・補助金額の上限は異なります。

2次公募期間

2024年5月27日(月)～2024年7月1日(月)

支援対象となる2つの類型

(Ⅲ) 設備単位型

◎指定設備(エネルギー消費効率等の基準を満たし、登録及び公表したもの)を導入

(Ⅳ) エネルギー需要最適化型

◎EMS(エネルギーマネジメントシステム)機器の導入

※(Ⅰ)工場・事業場型、(Ⅱ)電化・脱炭素型、(Ⅳ)エネルギー需要最適化型(単独)の申請は、「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」に申請してください。

一般社団法人
sii 環境共創イニシアチブ
Sustainable open Innovation Initiative

DNP 大日本印刷株式会社

省エネルギー投資促進支援事業費補助金では、 設備導入を行う補助事業を2つの類型から選ぶことができます。

本年度より設備導入を行う補助事業の名称を変更しております。

令和4年度補正事業	◎指定設備導入事業	⑩エネルギー需要最適化対策事業
令和5年度補正事業	(Ⅲ)設備単位型	(Ⅳ)エネルギー需要最適化型

(Ⅲ) 設備単位型

◎指定設備の導入

SIIが予め定めたエネルギー消費効率等の基準を満たし、補助対象設備として登録及び公表した指定設備へ更新する事業

ユーティリティ設備

- | | | |
|--------------------------|-----------------|-----------------|
| ① 高効率空調
(産業・業務用エアコン等) | ⑤ 高効率コージェネレーション | ⑧ 冷凍冷蔵設備 |
| ② 産業ヒートポンプ | ⑥ 低炭素工業炉 | ⑨ 産業用モータ |
| ③ 業務用給湯器 | ⑦ 変圧器 | ⑩ 制御機能付きLED照明器具 |
| ④ 高性能ボイラ | | |

生産設備

- | | | |
|--------------|---------|------------|
| ⑪ 工作機械 | ⑬ プレス機械 | ⑮ ダイカストマシン |
| ⑫ プラスチック加工機械 | ⑭ 印刷機械 | |

上記に該当しない「その他SIIが認めた高性能な設備」として指定した設備も対象となる。

補助対象経費

設備費のみ

補助率

1/3以内

補助金限度額

【上限額】1億円/事業全体
【下限額】30万円/事業全体

(Ⅳ) エネルギー需要最適化型

⑩EMS(エネルギーマネジメントシステム)機器の導入

SIIIに登録されたエネマネ事業者と「エネルギー管理支援サービス」を契約し、SIIIに登録されたEMSを用いて、より効果的に省エネルギー化及びエネルギー需要最適化を図る事業

申請単位において、「EMSの制御効果」と「省エネ診断等の運用改善効果」で、以下の要件を満たす事業

省エネ率:2%以上

補助対象経費^{*1}

設計費・設備費・工事費

補助率

中小企業者等 ^{*2}	大企業 ^{*3} 、その他 ^{*4}
1/2以内	1/3以内

補助金限度額

【上限額】1億円/事業全体
【下限額】100万円/事業全体

(Ⅳ) エネルギー需要最適化型との組み合わせについて

(Ⅲ)設備単位型に、(Ⅳ)エネルギー需要最適化型を組み合わせる申請することが可能です。その場合、それぞれの申請要件、補助率が適用されます。また、補助金限度額はそれぞれの事業の上限金額の合計となります。なお、(Ⅳ)エネルギー需要最適化型の単独申請は対象外です。

(Ⅲ) 設備単位型

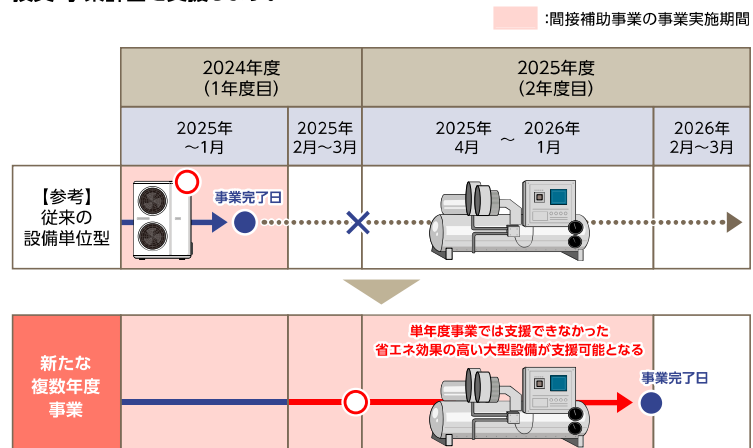
+

(Ⅳ) エネルギー需要最適化型

新たな支援策

複数年度事業(2年度事業)活用のご案内

従来の設備単位型(◎指定設備導入事業)では、投資・事業計画が単年度で完了する事業が対象であり、複数年にわたる事業は対象外でした。本事業では、総合経済対策を踏まえ、国庫債務負担行為を活用し、新たに複数年(2年度事業)にわたる投資・事業計画を支援します。



複数年度事業に申請するための条件等は、公募要領をご確認ください。

*省エネ法特定事業者等の要件について 年間のエネルギー使用量が原油換算1,500kL以上である事業者(省エネ法特定事業者等)は、省エネ法に基づく定期報告情報を開示する制度に参加宣言していることを要件とする。

※1 (Ⅳ)エネルギー需要最適化型を含む申請は、投資回収年数が5年以上、経費当たり計画省エネルギー量が補助対象経費1千万円当たり1kL以上の事業であること。「エネルギー使用量が1,500kL以上の工場・事業場」と「中小企業者に該当しない会社法上の会社(株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、有限会社)※みなし大企業を含む」は、省エネ法に基づき作成した中長期計画等に記載されている指定設備またはEMS機器を導入する事業であること。導入した補助対象設備の1年間のエネルギー使用量と省エネルギー効果を報告できること。

※2 中小企業者等とは、中小企業者(中小企業基本法第2条に規定する中小企業者であって、みなし大企業を除く)、個人事業主、中小企業団体等及び会社法(平成17年法律第86号)上の会社(株式会社・合名会社・合資会社・合同会社・有限会社)以外の法人(医療法人、社会福祉法人、NPO法人等)であり、かつ従業員が300人以下の法人。

※3 大企業とは、会社法(平成17年法律第86号)上の会社(株式会社・合名会社・合資会社・合同会社・有限会社)であり、「中小企業者」、「みなし大企業」のいずれにも該当しない法人。なお大企業は次のいずれかの申請要件を満たす場合のみ補助対象事業者とする。

*省エネ法の事業者クラス分け評価制度において「Sクラス」または「Aクラス」に該当する事業者(2次公募に申請する場合、以下の※を満たすこと)

※「Sクラス」については、公募締切時点で「令和5年定期報告書」として資源エネルギー庁ホームページにて、「Sクラス」として公表されていることが確認できる事業者

※「Aクラス」に該当する事業者として申請する場合は、令和5年定期報告書「特定第4表事業者の過去5年度間のエネルギーの使用に係る原単位及び電気需要平準化評価原単位の変化状況」を提出すること。

*中長期計画書の「ベンチマーク指標の見込み」に記載された2030年度(目標年度)の見込みがベンチマーク目標値を達成する事業者

※4 その他とは、みなし大企業に該当する法人又は会社法(平成17年法律第86号)上の会社(株式会社・合名会社・合資会社・合同会社・有限会社)以外の法人(医療法人、社会福祉法人、NPO法人等)であり、かつ従業員が300人超えの法人。